



トヨカツの裏側

トヨカツの裏側は、豊中市立市民公益活動支援センターを、さらに詳しくご紹介するコーナーです。

「ショーケース」

今回はトヨカツにお立ち寄りの際、真っ先に目に入るショーケースについてご紹介いたします。
 大きなショーケースの左半分にはトヨカツで行われるイベント情報を掲載しており、右半分には団体の皆さんによる展示を行っています。今年度は16団体が展示をされました。テーマや色使いはそれぞれで個性が光ります。
 入替日には団体の皆さんが時間をかけて作業をしていらっしゃいます。その姿から活動に対する想いを受け取っているトヨカツスタッフです。私たちもどうしたらよい掲示ができるだろうと日々模索中です。トヨカツにお越しの際には、皆さんの力作をぜひご覧になってください！



今後のイベント
開催予告

トヨカツ
cinema

「マヤ - 天の心、地の心 -」

現代マヤ人が暮らすメキシコ南部とグアテマラの6人の若いマヤ人の伝統的で儀式的な日々と日常生活を取り、グローバル化に翻弄され、マヤの文化や環境破壊が進行するなか、それぞれがこの危機にどう立ち向かっているのかを浮き彫りにしていきます。

日時: 2024年4月10日(水) ①昼の部14時~、②夜の部18時30分~
 定員: 各回20名(申込不要)

ちゃぶなない
集会

「ボーイスカウト 青少年の健全育成について」

ボーイスカウトのメンバーをお呼びして、青少年の健全育成について話をしてもらいます。活動を通して、子ども達がいかにたくさんを学び、成長していくか リーダーの立場からお話します。ボーイスカウトに興味のある方、保護者の方もぜひご参加ください。

日時: 2024年4月17日(水) 19時~20時30分
 ゲスト: ボーイスカウト豊中第4団 菅沼宏之さん
 定員: 20名(申込不要、先着順)

どなたでも
参加OK!

「ボランティア入門講座」

トヨカツスタッフが、市内各地域の公共施設などを巡回して、ボランティアの基本についてお話しします！これからボランティア活動を始めたい方は、お気軽に覗いてください。地域の活動場所への出前講座も受付中です。ぜひ、ご利用ください。

日時: 毎月豊中市内各所にて
 申込不要

こちらのイベントは
来店特典として
マチカネポイントを
プレゼントします！



豊中市立市民公益活動支援センター

住所: 豊中市庄内幸町4-29-1 (庄内コラボセンター1階)
 (阪急宝塚線・庄内駅より約800m)

TEL: 06-6398-9189

FAX: 06-6398-9209

MAIL: toyonaka.npo@jcom.zaq.ne.jp

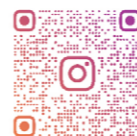
【開館時間】午前10時から午後7時まで

(水曜・金曜は午後9時まで)

【休館日】日曜・月曜・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)



センターのSNSも
ぜひチェック
してみてくださいね！



市民公益活動支援センター(トヨカツ)
開設1周年を迎えました!

複合施設の一階という重要な場所において、多様な主体をつなぎ、新たな価値を創造するための種まきを数多く行ってきた1年でした。2年目を迎えて、その芽をしっかりと育てていく年にしたいです。

contents

団体紹介、スタッフ紹介
...p2

事業報告
...p3

トヨカツの裏側、事業予告
...p4

団体紹介

市民公益活動支援センター(トヨカツ)を利用する団体を紹介します！
サポート事業を実施している団体もありますので、ぜひご覧ください。



NPO法人にこにこエプロン

「親と子の笑顔を守るお手伝い」を合い言葉に、「親の孤立」を防ぐことで虐待防止につなげる活動をしています。産前産後ケア、家庭訪問事業、子育て広場、支援者向け講座等の活動を通して、「地域が繋がる社会」「子どもが安心・安全な社会」「多様性を認める社会」といった社会になることを目指しています。家庭訪問事業では、訪問型子育て支援員の研修を経たメンバーが携わり、地域の親子に寄り添っています。にこにこエプロンは、家族が不安や悩みを抱えたままで生きることなく、人との繋がりの中で幸せに暮らせることを願っています。子どもたちが安心して育つ社会が実現できるよう、微力ながら頑張ります。ぜひ、ご支援・ご協力ください。



シニアワークセンターとよなか(内職ひろば庄内)

高齢者が就労することで生きがいを感じ、健康寿命を伸ばす取り組みとしてスタートしました。当初は退職して孤立しがちな高齢者が社会と関わることで健康寿命を伸ばす取り組みでしたが、実施するうちに、家に引きこもっているなど就労困難な若者、足腰の不調や病気ですぐに就労が難しい人などが手仕事を通じて次のステップに進むための場、居場所としても機能しています。また豊中市からの委託で就労困難者の就労準備支援も行っています。まずはこういう居場所の選択肢もあると知っていただきたいと思えます。そして、どのような状況にいる人でも主体的に社会に参加して、必要とされていると実感できるような社会にしていきたいと思えます。



スタッフ紹介

こちらのコーナーでは、市民公益活動支援センターのスタッフを、「推しな一枚」と一緒にゆるっとご紹介します。



もりしま ゆうき
森島 湧喜

はじめまして、森島湧喜です。(最年少スタッフです笑)高校生時代、地域の様々な活動に参加中、市民活動の楽しさに触れ、この世界に飛び込みました。今年で豊中歴20年の豊中大好き大学生です。といつも趣味は旅行。最近、北海道や伊勢志摩に行ってきました。写真は昨年9月に香港へ行った時に「100万ドルの夜景」とも言われる夜景スポット「ピクトリアビーク」で撮影しました。センターで見かけたら、気軽にお声がけください。



すずき けい
鈴木 恵

乗り物好きな私の推しは「ウランバートル鉄道」です。モンゴルに住んでいた時に移動手段としてよく使っていました。寝台列車なので、大草原の中をのんびり走る「ボゴン」にコトコト揺られながら、昇る朝日を眺めるのが最高の時間です。2月はモンゴルでも旧正月(ツァガラン・サル)を迎えます。一年で一番寒い季節ですが、大阪で暮らしているとその寒さすら懐かしく思い出されます。皆さまにとっても、実り多い一年になりますように。

開催報告

10/13

ちゃぶだい集会vol.53
ゲストハウスの取組みについて
「豊中と世界をつなぐ場づくり
～お茶を飲みながらおしゃべりしませんか～」

ゲスト:井関敦子さん
(ゲストハウス日本宿屋一六八)

庄内駅前にあるゲストハウス一六八の井関敦子さんをお迎えし、「豊中と世界をつなぐ場づくり」と題して、コロナ禍に行ったさまざまな取り組みやインターネットを活用したアイデアなどをご紹介いただきました。会場は、いつものトヨカツを飛び出して同じ階にあるR E Kカフェコーナーへ。夫の周さんが振る舞う美味しいお茶と中国のお菓子を味わいながら、参加者同士で異国への想いや場づくりへのアイデアを語り合いました。

12/6

ちゃぶだい集会vol.54
国際ボランティア
×地域づくり

ゲスト:鍋内郷子さん(箕面こどもの森学園)
由地一樹さん(青年海外協力協会)

JICA海外協力隊の参加経験があるお二方をお招きし、協力隊の紹介や国際ボランティアでの経験を活かした地域づくりの取り組みについてお話しいただきました。ボランティアに参加するきっかけや、帰国後の活動から、国際理解促進にとどまらない社会貢献について、参加者と一緒に語り合いました。参加者からも、海外での生活の様子や、国内での活動について知れて良かったとの感想が寄せられました。

11/15

トヨカツcinema11月
「グレート・グリーン・ウォール」

トヨカツcinema11月では、豊中市環境展に関連して、砂漠化、紛争、国際連携をテーマに「グレート・グリーン・ウォール」を上映しました。参加者からは「環境問題に興味があり、知らなかったことが知れて良かった。」「アフリカに行ったことがあるので、とてもなつかしく観ていました。同時に知らないことも多く、色々と学び、感じることができました。」といった感想をいただきました。今後の上映作品もお楽しみにしてください。



©GREAT GREEN WALL, LTD

12/10
1/10

とよなかシネコン

とよなかシネコンとは、豊中市の公共施設が合同で行う映画上映イベントです。今年、市民公益活動支援センターでは「アレップ最後の男たち」と「おくじらさま ふたつの正義の物語」の2作品を上映しました。とよなかシネコンをきっかけに、初めて庄内コラボセンターに来場された方もおられ、各施設の取り組みを知っていただくきっかけになりました。映画を観て、地域を知って、明日からできることをみんなで考える時間になったのではないかと思います。



©Larm Film

12/12

協働マッチング交流会 vol.3

庄内コラボセンター(ショコラ)に特化した協働マッチング交流会のまとめの回でした。施設職員と市民団体が集まり、実際に取り組んだ事例を発表したあと、意見交換を行いました。協働することに慣れていなかった施設からも、やってみたいという声を聞かれるようになりました。協働の具体例を知ることで、協働へのハードルが下がってきたということはとても大きな前進でした。これからの公民協働に大きな期待が膨らんだ交流会でした。



2/1

協働マッチング交流会 vol.4

これまでの庄内コラボセンター(ショコラ)を飛び出して、千里文化センター「コロポ」で初開催しました。参加してくれた市民活動団体は8団体、コロポ内の各施設からも11人の職員の方々が参加していただき、貴重な出会いの場となりました。普段なかなか市民活動団体と接点のない施設職員の方も多くおられて、団体の活動を知る貴重な機会になったという感想をたくさんいただきました。公民連携や協働のきっかけづくりの場になったのではないかと思います。



市民公益活動支援センター開設1周年記念企画 「未来バトンリレーションフォーラム2024」

龍谷大学政策学部の只友景士教授をお招きして「改めて考える協働とは」と題した講演会を開催しました。市民同士が力を合わせて「暮らしやすいまち」を作っていくことが、新しい価値を創ることにつながる。そのためには、人の心に火をつけていくことが大切であることなど、さまざまな事例を挙げながらお話しくださいました。後半のパネルディスカッションでは、行政、市民、学校、事業者の立場から3名の方々に登壇いただきました。「ショコラ」において、この1年でどのような協働が生まれたのかを紹介いただいた後、さらに関わる人を増やしていくためには何が必要か議論しました。まずはつながるための敷居を下げる、そのための「楽しい」「面白い」を増やすこと。「やってもいいんだ」という経験を重ねていくことが大切など意見を交わしました。トヨカツとしては、そのフロンティアとして、ミッション感を持って突き進んでほしいとエールをいただきました。